

「第17回海洋深層水利用学会全国大会 海洋深層水2013台湾大会」報告

研究企画発表委員会
委員長 清水 勝公

「海洋深層水2013台湾大会」が、今年の2013年11月2日～4日の3日間、中華民国花蓮県「国立東華大学管理学院第一講堂（B201）」におきまして、開催されましたことを報告します。

大会の概要につきましては、以下の通りです。

【主催】 海洋深層水利用学会

Organizer: Deep Ocean Water Applications Society

【後援】 財団法人石材・資源産業研究発展センター

Sponsor: Stone & Resource Industry R&D Center

【実行委員会】 委員長 林 志善 ((財)石材・資源産業研究発展センター 総経理)

日本側委員長 大内 一之 (東京大学)

委員 白石 學 (社団法人マリノフォーラム21)

藤田 大介 (東京海洋大学)

鈴木 秀和 (東京海洋大学)

池田 知司 (株式会社 環境総合テクノス)

吉川 昌之 (静岡県海洋深層水研究所)

開催場所対応委員

黄 秉益 ((財)石材・資源産業研究発展センター 組長)

【開催状況】

開会挨拶

高橋 正征 (海洋深層水利用学会会長・東京大学名誉教授・高知大学名誉教授)

President of Deep Ocean Water Applications Society

Masayuki Takahashi (Emeritus professor of the University of Tokyo and Kochi University)

沈 榮津 (台湾經濟部工業局局長)

Jong-Chin Shen (Director General of Industrial Development Bureau, MOEA, Taiwan)

徐 福榮 ((財)石材・資源産業研究発展センター 理事長)

Fu-Jong Hsu (President of Stone and Resource Industry R&D Center)

<来賓者挨拶>

傅 崐萁 (花蓮県県長)

Kun-Chi Fu (Governor of Hualien County)

王 廷升 (立法委員)

Ting-Son Wang (Member of The Legislative Yuan, Taiwan)

林 慶明 (台湾深層海水発展協会理事長)

Ching-Ming Lin (President of Taiwan Deep Sea Water Development Association)

吳 茂昆 (国立東華大学学長)

Maw-Kuen Wu (President of National Dong Hwa University)

特別シンポジウム：

司会 大内 一之（東京大学大学院新領域創成科学研究科・特任研究員）

Chairman Kazuyuki Ouchi (Graduate School of Frontier Sciences, The University of Tokyo,
Project Researcher)

海洋立國：談台灣海洋產業發展與遠景

黄 煌雄(中華民國監察院委員)

Ocean Country: The Development and Vision of Taiwanese Marine Industries

Huang-Hsiung Huang (Member of Control Yuan, Taiwan)

海洋深層水資源が支える21世紀の社会

高橋 正征（海洋深層水利用学会会長、東京大学・高知大学名誉教授）

Supporting the 21st human society by deep ocean water resources

Masayuki Takahashi (President of the Deep Ocean Water Applications Society, Emeritus
Professor of the University of Tokyo and Kochi University)

海洋深層水産業の将来性

浅川 良住（マリンゴールド株式会社代表取締役社長）

Future prospect of deep ocean water industry

Yoshizumi Asakawa (President of Marine Gold Corporation Ltd.)

從土壤礦物質專家到海洋礦物質專家：台肥集團海洋深層水事業之發展與願景

李 復興（台湾肥料股份有限公司董事長）

A Transition From a Soil Minerals Expert to Ocean Minerals

Expert : The Vision of Taiwan Fertilizer Co., Ltd. for Deep Sea Water Development

Fu-Hsing Lee (Chairman of Taiwan Fertilizer Co. Ltd.)

研究発表

海洋・水質関連／生物・水産関連（1）：5題

Water Quality, Biology and Fisheries 1

座長：今田 千秋（東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授）

海洋・水質関連／生物・水産関連（2）：6題

Water Quality, Biology and Fisheries 2

座長：周 宏農（国立台湾大学漁業科学研究所教授兼所長）

農業・畜産関連／健康・医療関連：6題

Agriculture, Animal husbandry, Health and Medical cares

座長：鄭 劍廷（国立台湾師範大学生命科学学科特任教授）

利活用システム関連他（1）：4題

Resource Applications 1

座長：山田 勝久（㈱ディーエイチシー海洋深層水研究所所長、
博士(海洋科学) 東京海洋大学共同研員)

利活用システム関連他（2）：4題

Resource Applications 2

座長：李 士畦（工業技術研究院特別補佐）

ポスター発表：全 17 題

【見学会】 11/3：光隆生技施設、台湾肥料施設
11/4：經濟部水利署施設、水産試験所施設

【参加状況】 参加者：総員 150 名程度

本大会は当会で初の外国での実施でしたが、日本側より口頭発表：11題、ポスター発表：1題、台湾側より口頭発表：10題、ポスター発表：13題、また韓国側より口頭発表：4題、ポスター発表：3題と、ここ数年では最も発表題数の多い大会となりました。また、見学会におきましても大型バス2台を使用しまして大人数での見学となりました。このことは台湾における「海洋深層水の利用に関する熱の高さを物語る」ものと考えますし、当会活動に対します会員各位のご理解とご協力に感謝する次第です。

なお、本大会での口頭発表は昨年度の好反響を受け、また日本語・中国語の同時通訳での発表となることも踏まえ、”質疑時間を含め20分/題（昨年度は15分/題）”としましたが、題目によっては時間配分のミスにより持ち時間が不足気味となった発表もありました。次回からは「説明時間と質疑時間の目標設定」を事前にお知らせすることの必要性を感じました。なお、英語発表者は持ち時間を15分/題（同時通訳なし）と昨年度と同じ時間配分で実施しましたが、”何故に発表持ち時間が違うのか”との質問を受け、事前の説明不足を痛感した次第です。

事務局側からのお知らせ不足等、種々の不手際はありましたが、大会初の外国開催を成功裏に終わることが出来たのは、本大会を誘致して頂きました「財団法人 石材・資源産業研究発展センター」殿のご理解とご協力によるもので、徐福栄董事長殿及び林志善総経理殿を初めとします総勢数十人のスタッフの皆様方のご尽力によるもので、本紙面を通じまして厚くお礼を申し上げる次第です。また、見学先となりました「光隆企業殿、台湾肥料殿、經濟部水利署殿、水産試験所殿」の皆様方にもご多忙のところをご丁寧な説明を頂きましたことにお礼を申し上げます。

最後に、会員の皆様方には、日頃、本学会活動にご理解とご協力を賜りまして、当大会の開催責任者として感謝申し上げます。次年度は「伊万里市（佐賀県）」での開催となりますが、スケジュール調整の上、御参集を頂きますようお願い申し上げます。

以上



開会挨拶



来賓者記念写真



研究発表状況



見学会